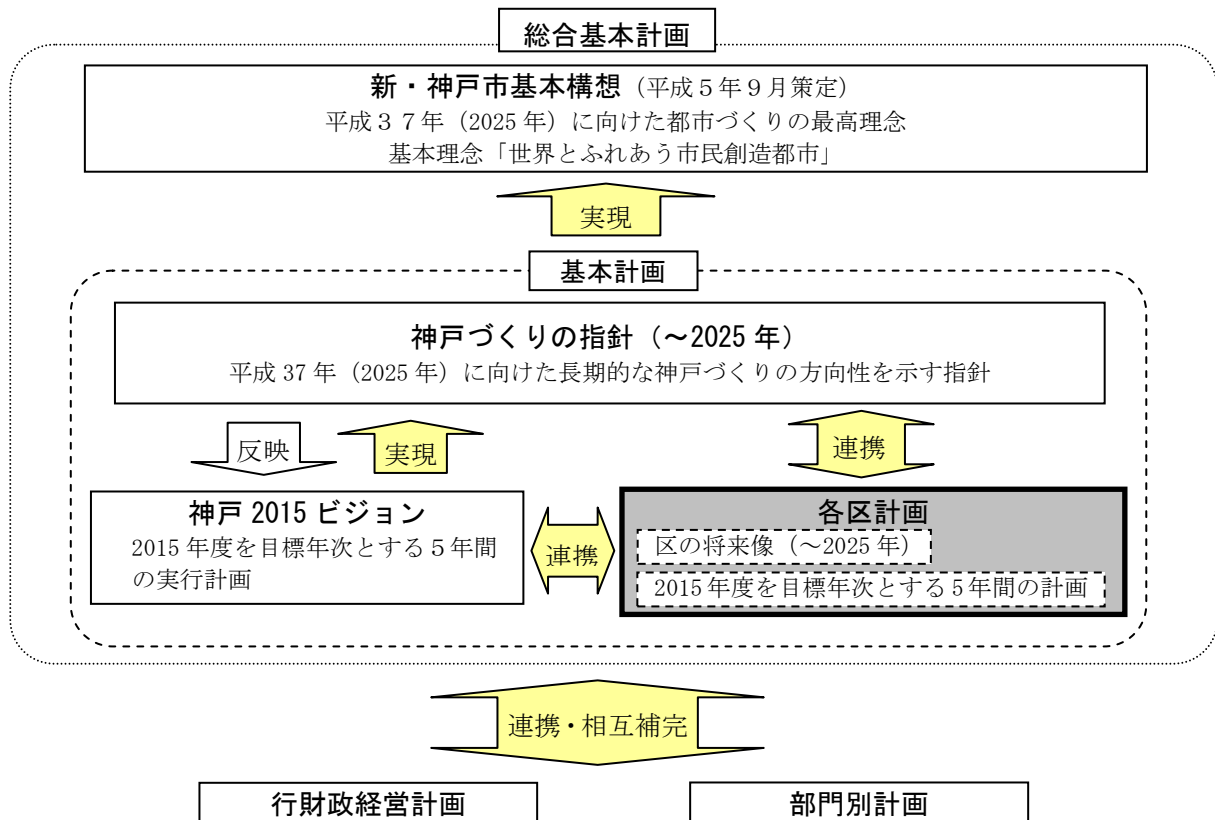


各区計画（素案）の概要

1. 位置づけ

各区計画は、基本構想の実現のための基本計画の一部を構成し、「神戸づくりの指針」および「神戸2015ビジョン」と相互に連携しながら一体的にその内容に取り組んでいきます。



2. 考え方

各区計画は、各区の個性や特性を活かし、生活に密着した分野を中心に、区民と目標を共有し協働で取り組むための計画として、区民や地域団体等の意見を聞きながら、各区の区民まちづくり会議が中心となって素案を策定しました。

各区計画の推進にあたっては、区民まちづくり会議が検証・評価し、その結果を踏まえて改善に取り組むPDCAサイクルにより計画の進行管理を行います。

<参考> 区民まちづくり会議

区のまちづくりについて、区民が自ら話し合うとともに、区民の創意や活力を生かした各種の実践活動を進め、市民・事業者・行政による協働のまちづくりを地域から先導する場として平成6年に設置。1期2年単位で、地縁団体やボランティア、NPO、大学関係者など多様な市民層から、各区ごとに約50人前後の委員を市長より委嘱しており、区民活動の企画・検討や実践、市政への提言などに取り組んでいる。

3. 基本的な構成

| | |
|---|---|
| 区の現状・課題： 各種データや区民アンケートなどの区民参画の結果からみる区の個性や特性 | |
| 2025年（平成37年）に向けた区の将来像： 区民と共有する区の将来の姿 | |
| 5年間 (2011年度～ 2015年度) の 実行 計画 | 重点テーマ： 区民の生活に密着した分野を中心に、区民と行政が協働で取り組むものに重点をおいてテーマを絞り込む。 |
| | 具体的な取り組み： 区民と行政が互いの役割を尊重しながら計画の推進に取り組むため、「区民が中心となって取り組むこと」「行政が中心となって取り組むこと」「行政と市民が一緒になって取り組むこと」に分類する。 |
| | まちづくり指標： 区民と行政の協働の取り組みの進捗状況を把握するための参考資料として数値目標を設定する。目標達成に向けて、区民が自ら実践するわかりやすいものを選定する。 |

4. 検討経緯

[平成20年度]

1月～3月 区民アンケートの実施

区民まちづくり会議での検討

[平成21年度]

7月～8月 区シンポジウムの開催

12月 審議会・調整部会で各区計画の検討状況について報告

2月 審議会総会で各区計画の検討状況について報告

[平成22年度]

8月 区民まちづくり会議にて各区計画(素案)確定

11月 審議会総会で各区計画(素案)の報告・審議



5. 各区の将来像と 2015 年度までの主な取り組み

① 東灘区計画(素案)

すてきがあふれ、交流の風が吹くまち「ふるさと都市・東灘」

●子育てを応援する

妊婦や子育て中の父親や母親同士が交流し互いに支え合う関係を育み、子どもを安心して産み育てられるようにしていきます。

- ・ 子育てへの父親の参加を促進するための「お父さん出番ですよ」の開催
- ・ 妊婦同士の交流を促進するための「妊婦のおしゃべり広場」の開催

●まち全体で暮らす人を守る

地域見守り活動や認知症対策など、まちのみんなで支え合う取り組みを引き続き推進することにより、誰もが地域社会の中で安心して暮らせるようにしていきます。

- ・ 徘徊の早期発見のための関係機関のネットワークづくり
- ・ 「見守りコミュニティグループ」による地域の見守り活動の推進

●わがまちをつくる

地域が主体となって、地域の目標をひとつずつ実現していくことにより、地域コミュニティの活性化を図り、魅力あるまちを実現していきます。

- ・ これからの地域のあるべき姿を考える「地域の将来像を描く」取り組みの推進

② 灘区計画(素案)

豊かな自然と笑顔あふれる 住み続けたいまち

●「つながり」- ふれあいで 人と人がつながるまちづくり -

新たなまちづくりの人材を発掘・育成するとともに、地域の一員である事業者や大学・学生、NPO 等の多様なまちづくりの担い手との連携強化に取り組み、「みんなの力」を結集して「住みよい元気なまち」を創ります。

- ・ 団塊の世代や転入者等の地域活動参加に向けたきっかけづくり
- ・ 地域と児童の交流事業などによる、小学生からの地域活動参加の促進
- ・ 事業者によるまちづくり活動や大学、地域の連携事業の一層の推進

●「思いやり」- 生活マナーを守る 気持ちよく暮らせるまちづくり -

区民にとっては「住み続けたいまち」として、また、区外の人にとっては「訪れてみたくなるまち」となるよう、区民一人ひとりが生活マナーを守り、気持ちよく暮らせるまちづくりを進め、まち全体のホスピタリティの向上を図ります。

- ・ ごみの不法投棄、違法駐車・駐輪など、生活マナー向上に関する区民運動の強化
- ・ ごみ出しマナー推進協定（ワケトン協定）の締結
- ・ まちかど緑化・飾花の推進や区の花を活かしたまちづくり

③ 中央区計画(素案)

くらす魅力、つどう魅力、多彩な個性が響きあう都心^{まち} 中央区

●くらしたくなる「都心^{まち}・中央区」づくり

生涯を通じた健康づくり、子育てをしやすい環境づくり、安全で安心して暮らせる地域づくりを進めるとともに、地域の多彩な魅力を発信することで、住み続けたくなる・暮らしたくなる「都心・中央区」の実現を目指します。

- ・ 地域と協働した放置自転車対策や自転車の乗り方マナー向上のための啓発
- ・ 結核などの感染症対策の推進
- ・ 地域の魅力の創造と再発見の推進による住み続けたくなるまちづくり

●つどいたくなる「都心^{まち}・中央区」づくり

商業施設や業務施設などの都心機能の集積やみなと・空港といった中央区の特徴を活かして、まちなにぎわいの演出を支援し、人々がつどうおもてなしの心あふれる「都心・中央区」を実現します。

- ・ 都心回遊の魅力を発信する個性的なマップ作成など、来街者へのおもてなし活動の支援
- ・ 落書き消去活動や壁画の設置など、地域との協働による美しいまちづくり

④ 兵庫区計画(素案)

やさしさと思いやりのまち 兵庫

●子どもの笑顔を守り育てる

これからの兵庫区を担う子どもたちが明るい笑顔でありつづけることができるように、関係機関、関係者と地域が連携して、出生（妊娠期）から、乳幼児期、小中学校、青年期まで切れ目なく、一貫して子どもの成長を見守り、育んでいきます。

- ・ 地域での「子育てサークル活動」や「子育てサロン」の開設の推進
- ・ 親が持つ子育ての力を強める「親育ち応援事業」の実施
- ・ 地域ぐるみでの見守り体制の充実や青少年の健全育成

●南北交流の“わ”づくり

南北に長い兵庫区の魅力や活力を、区全体で活用・共有できるよう、兵庫の“わ”づくりを進めます。特に、南北をつなぐ核として、区の中心である湊川地域の整備・機能強化を図り、その活性化をめざす取り組みを進めます。

- ・ 区民との協働による、区総合庁舎のあり方等「湊川地域の将来像」の検討
- ・ 人が集まりやすく、人が利用しやすい区民ホールの設置の検討
- ・ 南北地域団体の交流イベント、区内各地のイベント情報提供の充実

⑤ 北区計画(素案)

人が集い 安心して暮らせる 魅力あふれる 緑といで湯のまち

●北区の魅力の活用と情報発信

豊かな自然や、数多く残されている歴史文化資源、有馬温泉などの観光資源を北区の魅力として活用するとともに、幅広く情報発信し、多くの人に足を運んでもらい、まちの活性化を図ります。

- ・ 四季折々の風景を楽しみながら名所旧跡などを散策するハイキングの開催
- ・ 農村歌舞伎舞台や茅葺き民家を活用したイベントの開催
- ・ 「有馬温泉と周辺観光地」「有馬温泉と農業」などの連携を深める仕組みづくり

●安全で便利なくらしの実現

広大な北区の地域間のみならず、地域内での移動手段の確保について取り組み、安全で便利なくらしの実現をめざします。また、鈴蘭台駅前整備をはじめとした、安全・便利でにぎわいのあるまちづくりを進めます。

- ・ 地域が主体となった公共交通の利用促進や地域コミュニティバスの運行
- ・ 鈴蘭台駅前広場の整備によるビルの共同化、周辺のバリアフリー化

⑥ 長田区計画(素案)

世界に誇れ！ 食と鉄人 「ゲー」なまち 長田

●老いも若きも共に楽しく和やかなまち

子育て環境、高齢者の居場所などの整備、高齢者と子ども・子育て世代の地域における交流を推進します。また、健康を維持する方策やスポーツの充実を図ります。

- ・ 子どもに昔遊びを教える「あそびマエストロ（名人）」で高齢者の活躍の場づくり
- ・ 乳幼児期からの歯磨きの習慣づけなど、むし歯予防の推進による「健口（けんこう）のすすめ」

●また来てみたいおもろいまち

多くの方々に来てもらうために、食・歴史など「文化」を切り口にPRします。文化を徹底的に洗い出し、それらに触れる様々な機会の創出、文化の継承発信などを行います。

- ・ 長田の食文化の調査などによる“ええとこ”を発掘整理
- ・ 鉄人28号、三国志、グーフィーなどキャラクターを用いたまちのにぎわいづくり

●自然を生かしたうつくしいまち

長田の地域力を生かした効果的なソフトの取り組みを工夫し、まちの自然を生かしたうつくしいまちをつくっていきます。

- ・ 「緑のカーテン」（長田ゴーヤ大作戦）の全区展開
- ・ 自然にかかわる活動の推進による自然を通じた人々の協働と交流

⑦ 須磨区計画(素案)

地域の力と情熱があふれる住みよいまちー須磨ー

●青少年の防犯・防災意識の向上と活躍の場づくり

各種地域リーダーや専門家の協力を得ながら、青少年に対し、防犯や防災に関する学習の機会を提供し、意識啓発を進めます。また、「青少年が地域を担う」という観点から、防災訓練などの地域活動への青少年の参加を促しながら、地域で青少年を守り育てます。

- ・地域の防犯・防災活動への青少年の参加促進の仕組みづくり
- ・地域の催しなどに青少年が参画し、活躍できる場づくり

●須磨の魅力発信と「おもてなし機運」の向上

須磨の雰囲気や魅力資源を愛する「須磨ファン」を発掘し、須磨の魅力発信源となるよう仕組みづくりを進めるとともに、まち歩きを通して須磨を楽しむことができるよう、「おもてなし協力店」の設置やテーマに応じた観光ガイドなど、まち全体で「おもてなし機運」の向上を図ります。

- ・須磨を愛する「須磨ファン」の発掘と「須磨ファン」と協働した情報発信の取り組み
- ・須磨のまちや名所などを紹介する店「おもてなし協力店」の設置

⑧ 垂水区計画(素案)

住みたい 住み続けたいまち 垂水

●地域総合力の強化

ふれあいのまちづくり協議会を中心に、地域活動が活発におこなわれている垂水のまちの特徴をさらに発展させ、地域総合力の強化を図ります。

- ・各種地域団体の交流・連携の推進や地域団体とNPO等各種団体との交流の促進
- ・地域情報を集約したホームページの作成・発信などの情報交流拠点づくりの推進

●子どももおとしよりもいきいきと暮らせるまちづくり

人のつながりによって、地域で安心して子育てができ、高齢者が安心していきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

- ・「子育てアドバイザー（愛称：フレンドママ）」の育成や「子育てサークル」活動への支援
- ・地域行事や登下校時の安全見守り活動など高齢者の活躍の場づくりや、地域で高齢者を見守る「友愛訪問ボランティアグループ」の活動の充実

●生活文化圏でのまちづくり

地形的圏域や社会的圏域によって地域特性の異なる6つの“生活文化圏”ごとに、歴史的遺産や伝統文化などの地域資源の活用や、子どもからおとしりまでの幅広い交流など、固有の重点目標を定めて、各地域での個性を生かしたまちづくりを進めます。

⑨ 西区計画(素案)

美しいまち西区 新しい田園都市をめざして

●災害に強いまちづくり

防災訓練や市民救命士講習会などを通じ、地域での自主防災力の向上を図るとともに、情報伝達網を整備し、災害時に活用できるシステムづくりを行います。

- ・ 親子参加による防災講習会の開催や各地域でのジュニアチームの結成・活動への支援
- ・ 一人暮らしの高齢者など、要援護者の情報を集約する「災害時一人も見逃さない運動」

●犯罪のない安全で安心なまちづくり

各地域での防犯対策を支援するとともに、大規模工業団地が立地し、事業所が多いという西区の特性を活かして、住民、事業者、行政が一体となって自主防犯力の向上に取り組みます。

- ・ 区民に対して区内の犯罪情報などを提供する「西区メール配信システム」の充実
- ・ 区内事業所と「(仮称)西区安全安心まちづくり協定」の締結による取り組みの推進

●都市と農村との交流

自然豊かな農村地域の活性化のため、区内産農産物について地産地消の推進を図るとともに、都市部住民との交流を進め、農業や産業の多様性と文化への理解を深めます。

- ・ 次代を担う子どもに対する、農業体験による情操教育や区内産の食材を活かした食育
- ・ 農業のほか、工業や伝統芸能などを巡る「西区魅力発見ツアー」を地域団体等と実施